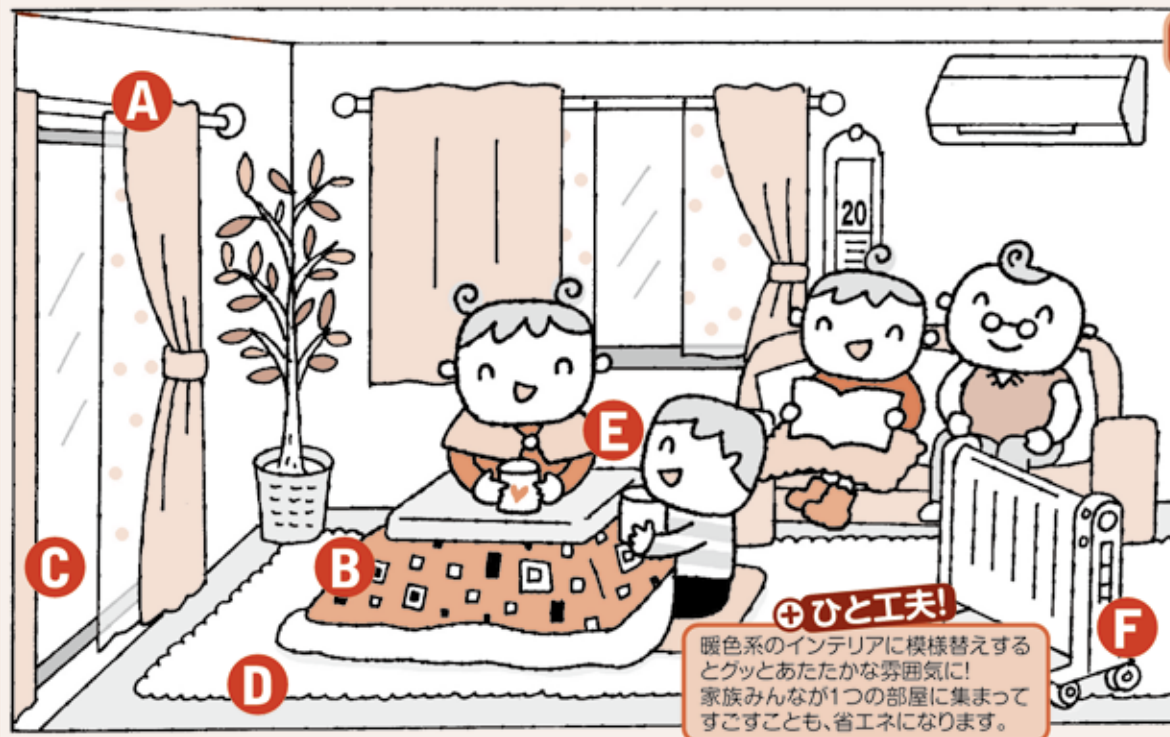


# みんなの省エネチャレンジ!

～これから寒くなる季節に～

エコ  
みんまでエコ!

機関紙8月号では夏の省エネチャレンジにご参加いただき、ありがとうございました。夏だけでなく、1年を通して節電を求められるようになりました。これから寒くなる季節に節電として何ができるのかを考えてみませんか?



## 省エネチャレンジ! eco 冬編

- A** カーテンは床まで届く長さの厚手のものを使いましょう。カーテンレールが2本ある場合、両方に厚手のカーテンを掛けることで、断熱効果が高くなります。
- B** こたつは掛け布団と上掛けを使って熱を外へ逃がさないようにしましょう。
- C** 二重ガラスなどでは熱が逃げにくくなります。
- D** カーペットやじゅうたんの下に断熱シートを敷くと、さらに熱が逃げにくくなります。
- E** 厚着、厚手の靴下、ひざ掛けなどをしょうずに使ってからだを温め、室内の設定温度を下げましょう。
- F** 寒さや部屋の大きさなどによって適切な暖房器具を選びましょう。  
★エアコン ★オイルヒーター ★石油ファンヒーター  
★こたつ ★電気カーペット etc...  
必要なときだけつけるように心がけましょう。

「ひと工夫!」  
暖色系のインテリアに模様替えるとグッとあたたかな雰囲気! 家族みんなが1つの部屋に集まって過ごすことも、省エネになります。

熱を部屋の外へ逃がさないように工夫しましょう。

「わが家おすまいるの冬の節電方法」を3面のおたより欄よりお教えください。3名の方に図書カード500円分をプレゼントします。

### 夏の省エネチャレンジ参加者が実施した「ひと工夫」の中から、冬でもできる対策をご紹介します

- 冷蔵庫を頻繁に開けない
- 日中は水筒にお茶を入れて飲みました
- 残り湯を捨てずに活用する
- 家族全員が1つの部屋で過ごす
- 一緒に一斉に寝る。
- 毎日掃除機ではなく、ほうきで掃くようにして、3日に1回掃除機をかけるようにしました。
- 家の街灯は消して寝る。

※機関紙8月号の「みんなの省エネチャレンジ!」にご応募いただいた中から、3名の方に図書券500円をお届けいたしました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

### 一緒にやってみよう! エコライフのポイント

- エコライフ項目  チェックしてね!
- エアコンの設定温度を20℃以下にする
  - シャワーのお湯は出しっぱなしにせず、こまめに止める
  - 温水洗浄便座のふたを閉める
  - 電気ポットでの保温をやめ、使うたびに沸かす
  - 車を使わず、徒歩・自転車移動する



**共同企画** おおさかバルコブ・ならコブ 大阪よしがわ市民生活協同組合

### 岩手ボランティアバス募集中!!

1度参加した方もぜひ!!

**募集定員** 各定員20名  
(応募者多数の場合は抽選し、当落は後日郵送にてご連絡します)

**参加費** お1人 8,700円  
(宿泊費、現地での食事代、ボランティア保険700円を含む)

**参加条件** 組合員、および同居かつ同世帯の家族 家族での複数名参加可。(中学生以上の方)

※ボランティアの内容は、仮設住宅の屋外清掃や家内清掃、畑作業、炊き出しなど現地での要請に基づいて活動します。  
※集合場所・持ち物などの詳細は、別途参加者にご案内します。  
※天候不順により中止する場合があります。  
※終了後、レポートの提出をお願いします。

実施予定日	申し込み締切日
15回目 12/23(日)~12/26(水)	11/23(金)
16回目 12/28(金)~12/31(月)	11/30(金)
17回目 2013年 3/29(金)~ 4/1(月)	2/22(金)

※一部締切日に変更になりました。既にお申し込みの方はご確認いただき、ご連絡時期が変わることをご了承ください。  
くわしくは下記までお問い合わせください。

お申込み・お問い合わせは **組長部** ☎06-6319-5619 (月~金 9~17時)

**震災支援レポート**

### 「いわて生協移動販売トラック購入募金」にご協力ありがとうございました。

岩手県太平洋沿岸部において津波で店舗がなくなり、日常の買い物に困っているたくさんの方々に、いわて生協は移動販売車1台で奮闘しています。「もともと移動販売車を」との声に応え、よしがわ生協では「いわて生協移動販売トラック購入募金」を10月2回にて、組合員のみならず呼びかけました。被災地に寄り添う支援として、下記のようにたくさんのお気持ちをいただきました。募金はいわて生協に、みなさんのお気持ちと共に送りました。

### ご存知ですか? 2012年は国際協同組合年です!!

国連は2012年度を国際協同年と定め、協同組合活動促進をめざす年となっています。今回は、東日本大震災の時に各協同組合がどのような活動をしたのかご紹介いたします。

#### 4 東日本大震災と協同組合の役割

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、被災地の協同組合も大きな被害を受けました。直ちに自らの組合員・地域住民支援に乗り出し、また被災地外の協同組合も迅速に支援を開始したことは、テレビや新聞でも大きく取りあげられ、支援の輪がさらに広がりました。

- 全国の医療福祉生協から、医師・看護師が被災地にて医療支援活動を実施。
- 被災地の中小企業組合は、小売店が集まって仮設店舗をつくり、共同店舗の組合を設立。
- 全国から被災地入りをした生協トラックが移動販売を実施。
- 被災地生協の店舗は大きな被害を受けながらも、震災当日から可能な限り営業し、被災者の『食』を支えた。
- 大学生協は被災地の学校と協力して、小学生~高校生向けの学習支援。
- 労働者協同組合は、宮城県で仕事おこし講座を開始。
- 共済事業は、被災した組合員を訪問し、調査活動と共済金支払いを実施。

全国の生協では、大規模な自然災害に備えて、自治体や自主防災組織などと「災害時物資協定」の締結を推進しています。自治体の要請に対し、「災害時物資協定」に基づき、被災地に食料・飲料・衣料品など必要物資を提供します。

このように支援活動が迅速かつ広範囲に広がるのは、協同組合が「組合員の願いを満す、暮らしを守るための組織であり、共助を本質としていること」にあります。よしがわ生協も「笑顔ひろがる 豊かな暮らし」をめざして、組合員と共に地域活動を取り組んでいます。震災では、対策本部を設置して募金を呼びかけ、緊急交通路指定解除後すぐに支援物資をみやぎ生協へ届けました。

現在も、募金活動や岩手ボランティアバスの運行などを行っています。ぜひ、今後も支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 募金活動報告 (10月26日現在)

<b>遠野まごころネット募金</b> (まごころネットの運営サポートとして)	<b>移動販売トラック購入募金</b>
<b>6,139,500円</b>	<b>1,815,500円</b>

募金方法 ▶ カンパ欄1416番に個数(100円単位)を記入。 募金の受付は終了し、いわて生協に送金しました。

今後も募金にご協力をお願いいたします